

令和3年度における議会改革の検証

大牟田市議会では二元代表制の下、市民と共に考え行動する地方分権の時代にふさわしい議会のあるべき姿を念頭に置き平成22年12月に議会基本条例を制定しました。

この条例では議会機能の充実・強化により、市民の福祉の向上を図ることを基本とした豊かなまちづくりを目指すことを目的としています。

また毎年、この条例に沿った取組を行えているか等、検証して次年度の活動に生かしています。

第1章 総則

議会機能の充実・強化に向けて様々な取組を行い、令和3年度も一定の前進ができました。

一例としては、保育所等における新型コロナウイルス感染症対策について、決算特別委員会の場で取り上げ、合意形成を図り、議会の総意として市長に要望をしました。

第2章 議会及び議員の活動原則等

各定例会等における会期日程等のホームページへの掲載や愛情ねっつによる情報発信に加え、令和3年度第3回定例会からは発信ツールを増やし、市の公式LINEやdボタン広報誌も用いて、情報発信の強化に努めました。

第3章 会議運営の原則

市民教育厚生委員会及び都市環境経済委員会において、子育て世代包括支援センター事業、学童保育所・クラブ、観光基本計画に関する3項目の意見・要望について議会の総意として合意形成を図り、市長に提出し回答を求め、令和4年2月に市長より回答を受けました。

第4章 市民との関係

議会報告会については、令和2年度から新型コロナウイルス感染症対策のため開催方法を変更し、参加人数を絞り、各校区の地域コミュニティ組織の役員等との意見交換会という形で実施しました。

令和3年度においても、意見交換会という形を踏襲し市内を北部、南部の2地域に分け、北部地域の各校区地域コミュニティ組織の役員等と意見交換会を実施しました。

また、課題であった若者の参加者が少ないという点を解消するため、市内の高校生・高専生・大学生との意見交換会にも新たに取り組みました。



第5章 市長等との関係

大牟田市アクションプログラムについて、経済情勢や市

における喫緊の課題等を勘案した改訂案が提出されるなど、十分に議論可能な資料の提出がなされました。

第6章 議会の体制整備

議会研修会は、令和元年度より延期となっていた「議会BCP計画」をテーマに、新型コロナウイルス感染症対策の面から会場を議場とするなどの手法を取り入れながら開催予定でしたが、感染拡大などの状況を踏まえ、再延期しました。

第7章 政治倫理、議員定数及び議員報酬

令和2年度には、8か月間、議員報酬の10%を減額し、生じた財源を新型コロナウイルス感染症対策に活用するよう行動しました。

なお、産前・産後の欠席期間の設定や疾病・介護等を理由とする欠席の届出に関する会議規則の改正に伴う報酬の取扱については、他市の動向などを見据えながら、今後検討を行うこととしています。

第8章 最高規範性その他の条例との関係及び見直し手続等

市議会基本条例の施行から10年が過ぎ、その間の取組等を検証・総括するため、作業部会を令和元年度に設置し、令和2年度は14回の作業部会を開催、検証と総括の文案を策定し、令和3年度に公表しました。